

暑さが和らぎ体を動かすことが心地よい季節になり、高月齢の子どもたちは園庭遊びが始まりました。靴を履いて、土や砂場の上を保育者の手を持って慎重に歩いたり、好きな場所に行って元気に遊んだり、様々な姿が見られています。低月齢の子どもたちはテラスでマットやボールで広々と遊び、伸び伸びと身体を動かしています。時折フェンス越しに園庭の様子を見て声を出し、異年齢の友だちにも嬉しそうに関わろうとしています。

また、子どもたちの成長と共に保育室の玩具を少しずつ入れ替えています。今はブロックやままごとなどに興味津々です。ブロックをはめて遊ぶ子ども、はめようと頑張っている子ども、じっくりと見て触ってまるでブロックの研究をしているかのような子ども、楽しみ方もそれぞれです。

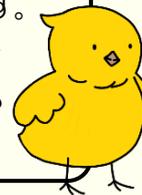
10月も神さまが創られた秋の自然に触れる中で子どもたちのやってみようとする気持ちや一人ひとりの発見や気づきを大切にしながら過ごしていきたいと思います。



ままごとコーナーでコップとスプーンを持っていたAくん。「あー」と言いながら保育者の口元にスプーンを持って来てごはんを食べさせてくれました。数日前まで、ままごとの玩具を触ったり自分の口に入れたりして遊んでいたAくんの成長に感動しました。周りの大人にも興味を示し、その後、何度も口に運んでくれて心もお腹も満たされた気持ちになりました。

朝夕は肌寒さを感じる季節となってきました。9月は幼児クラスの運動会の取り組みを見に行く機会がありました。ひつじ組が広げてくれたパラバルーンの中に入った子どもたちは、不思議な空間に少し緊張したり、興奮してとび跳ねたりと、様々な姿が見られました。そう組の組体操は緊張感や迫力ある声にビックリしてしまう子どももいましたが、前のめりになったり、足をあげてポーズを真似してみようとしたり、そう組のかっこいい姿に心を動かす様子が印象的でした。ひよこ組の子どもたちにとって素敵な体験や楽しい時間となったようです。

10月は戸外や散歩に出かける機会を持ち、落ち葉やどんぐりを集めたり、秋の冷たい空気を肌で感じたりしながらたくさんの自然に触れ、その中で感じた子どもたち一人ひとりの気づきや発見を大切にしていきたいと思います。生活の場面では食事の前に手洗いを取り入れていきます。初めは保育者と一緒に行う中で、石鹸の出し方や手の洗い方を一人ひとりに合わせて伝えていきたいと思います。ぜひ家庭でも一緒に取り組んでみてくださいね。



子どもからのリクエストでオバケの絵本を読みました。その日の遊びの中での出来事です。そーっと押入れの扉を叩いてオバケを呼んでみたり、友だちや保育者を驚かそうとバンダナを頭に掛けて、「オバケだぞ〜」とかわいっいオバケがたくさん登場したり、ひよこ組の子どもたちの中でオバケブームが到来した一日となりました。

暑さの中にも、秋らしい涼しさを感じられる過ごしやすい季節になりました。たくさん楽しんだ水遊びを終え、子どもたちは園庭で毎日元気に体を動かして楽しんでいます。夏前までは出会うことがなかったコオロギや、聞こえてくる虫の声に興味を持ち、手や目、耳など様々な感覚を使いながら秋の訪れを感じています。大学のグラウンドにも出かけ、広い場所を思いっきり走ったり、茂みの中を探検してどんぐりを拾ったりして、園庭や大学の森とは一味違った遊び方を満喫する姿も見られました。

10月はますます秋が深まります。大学内や園外に散歩に行き、豊かな秋の自然を感じたり、友だちと一緒に歩くことを楽しんだり、恵まれた自然の中で過ごすことができる喜びを分かち合いたいと思います。



医師と患者役に分かれてお医者さんごっこを楽しんでいる子どもたち。「きょうはどうしましたか?」「おなかがいたいんです…。あ!あしもいたいです…。「じゃ、ちゅうしゃですね!と、絶妙な掛け合いをしている子どもたちの演技力に笑ってしまいました。